

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月25日			記入者	内線 2687
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義
事務事業名	進行性筋萎縮症療養給付事業				
予算上の事務事業名	進行性筋萎縮症療養給付				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11310	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施 策 名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
進行性筋萎縮症者療養給付事業実施要綱(国)					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	障害福祉計画			障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期H10~14、中期H15~18、後期H19~22) 施設福祉サービス	
計画年次	10	年度~	22	年度	
4 事業形態の区分 助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
進行性筋萎縮症者を入所措置し、必要な医療訓練及び生活指導を行う。			身体障害者手帳の交付を受けている18歳以上の進行性筋萎縮症者で、その治療等に長期間を要する者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
国立療養所箱根病院に委託して実施					
6 関連・類似事業や他市の状況					
国要綱で定められているため、全国的に実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	4,420	4,453	4,455	4,460	4,460
一般財源	2,184	2,200	2,201	2,203	2,203
受益者負担金	54	54	54	54	54
その他の特定財源	2,182	2,199	2,200	2,203	2,203
人件費の合計	25	25	25	25	25
事業コスト合計(a)	4,445	4,478	4,480	4,485	4,485
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	進行性筋萎縮症者療養給付事業			対象名称(単位)	入所者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	4,445	4,478	4,480	4,485	4,485
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	4,445,000	4,478,000	4,480,000	4,485,000	4,485,000
前年度比		1.01	1.00	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	入所率（％）		指標式と指標の説明	入所を希望しているものが実際に入所できているか調べるため。（入所者数/入所希望者数「待機を含む」×100）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	入所率（％）		指標式と指標の説明	入所を希望しているものが実際に入所できているか調べるため。（入所者数/入所希望者数「待機を含む」×100）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		進行性筋萎縮症に罹患している障害者に対する療養等を行う本事業については継続していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			国制度の変更により、平成18年10月以降療養介護へ移行する予定がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			